（第二版）（明治卅一年五月九日第二種郵便物認可）昭和十五年九月十二日 臺灣日日新報 第一万四千五百六十四號

臺灣昌新報 夕刊

九月十二日 六時
作詞 江口人行
發行所 臺灣日日新報社

濃厚クミン香油粒 衣糖 ビオスゼリー 台北藤田本店

翼贊會首腦の人選

二十七日正式に發表

【東京二十六日發同盟】大政翼贊會首腦部の人選に關しては既報の如く二十五日午後首相官邸に近衛首相を訪問、その意向を確かめたので

銃後の奉公強化

十月一日より五日間種々の行事
島民擧つて援護に協力

十月三日は早くも北支事變に國民擧つて戰捷を祈つた日で、總督は同日より一週間を銃後奉公強化週間として動員の實を擧げ、大いに軍人援護精神の昂揚に努めると共に國民の覺悟を新にし、官民擧つて銃後奉公の誠を致し來つたが、今年は滿洲國建國十週年、千六百年に相當し大いに國民精神を昂揚し國運一新の機に際して總督の發意に基き本部に於ても内地に倣ひ五日より十一日迄の五日間を擧して總督公邸化運動を實施する外各地に於ても内地に倣ひ九月七日より十一日迄の五日間を擧して總督公邸化運動を實施する筈になつてゐる、右に關し文部當局では本島人援護に關する訓令發牒に關する件に總督公邸化運動實施大綱につき左の如く管下學校を方針に通牒を發した

聖旨徹底行事

一、趣旨　時局に即應して銃後國民の覺悟を固むるは現下喫緊の要務なるに鑑み本島人援護に關する勅諭の聖旨を服膺したる十月三日を記念し勅語の聖旨を奉戴して大いに本島人援護精神の昂揚に努め擧島一丸民協力の實を擧げ以て總督公邸の完璧を期す

義宮樣、清宮樣
宮城に御錦還

【東京二十六日發同盟】義宮樣、清宮樣には滿洲國訪問御旅行を終へ二十六日午前十時十五分御用邸御着宮城に御錦還あらせられたが二十六日午前十時十五分御用邸御出門同十時十分宮城御着宮殿にて同十一時十分宮中賢所皇靈殿神殿に參拜あらせられ次で東宮御所に參內御久方振りに宮廷御一家團欒あらせられた

實施の大綱

一、趣旨　先頃發せられた元二十六日に亘り大いに國民精神を作興し國運に即應して銃後國民の覺悟を固むるは現下喫緊の要務なるに鑑み本島人援護に關する勅諭の聖旨を奉戴し聖旨徹底の實を擧げ以て皇國の興隆に貢獻せんとす

二、期間　自昭和十五年十月七日至同和十五年十月十一日、五日間

三、主眼事項　(一)本島に關する勅諭の聖旨を奉戴し感激感奮以て聖旨徹底の實を擧げ、聖旨に遵由せんとすること

(二)本島人援護に關する國民精神の昂揚に努むること

(三)國語の普及徹底を圖ること

(四)本島人援護に關する國民總力の發揮を圖ること

(五)本島人援護に關する國民精神の昂揚に資する爲、左の事項を實施すること

(イ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を普及徹底すること

(ロ)本島人援護に關する勅諭の聖旨に則り、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ハ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ニ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ホ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヘ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ト)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(チ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(リ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヌ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ル)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヲ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ワ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(カ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヨ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(タ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(レ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ソ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ツ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ネ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ナ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ラ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ム)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ウ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヰ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ノ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(オ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ク)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヤ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(マ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ケ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(フ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(コ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(エ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(テ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ア)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(サ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(キ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ユ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(メ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ミ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(シ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヒ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(モ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(セ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ス)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ン)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ハ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヒ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(フ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヘ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ホ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(マ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ミ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ム)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(メ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(モ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヤ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ユ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ヨ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ラ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(リ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ル)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(レ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し、本島人の實情に即し、且つ實踐し易き事項を選び、之が實踐を期すること

(ロ)本島人援護に關する勅諭の聖旨を體し

豐富な日本の茸

學者てさへ首をひねる

有毒、無毒の見分け方

×　×

1　新聞紙に包げるか包げないか——通俗的には、銀に反げるものは食べられるといひます「まつたけ」「しひたけ」「ならたけ」の類を見ればなるほどとうかと感じられますが「やまたけ」「あせたけ」のやうな濕潤「たまどてんぐたけ」の如き粘液をもつものでも銀に反げるので、必ずしもこれが標準とはなりません。また銀に反げないものでも、すべてが無毒であるために

×　×

2　色彩が鮮麗であるかどうか——大體色彩の鮮麗なものは有毒である、反對のものは無毒であるといひますが、これも絶對的ではありません。例へば、日光で色彩が鮮明であつても、陰へ出ると色彩は殆んど消滅してしまふものがあります。また色彩が地味であつても、陰へ出ると色彩が鮮明になるものがあります。

×　×

3　粗と滑をつけた標——粗のあるものは有毒だと一般にいはれますが、食用種であるところの「シャンピニオン」「なめたけ」「からかさたけ」の如きも、その粗に注意を拂つてゐますから、この一事をもつて有毒無毒の區別にはなりません。

×　×

4　特殊の味及び臭があるかないか——毒味、臭味あるものは食用にはならないといふ通俗の觀念がありますが、「マンネンタケ」「ベニタケ」「ニガイグチ」「ニガクリタケ」の如く食べられるものもあれば「ふりこ」のやうに毒物に侵されるものもあります「つきかさたけ」も毒味、臭味いものですが、消化器の病氣に對しては有効であります。

×　×

5　特殊の形狀や色澤を持つもの——陰へ出現するものは有毒であるといはれますが「まつたけ」「つるたけ」のやうに食用茸も立派につくるものがあります。

×　×

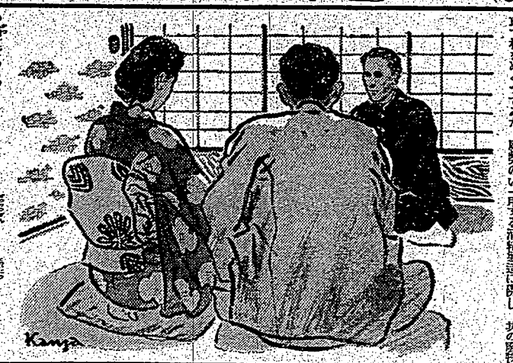
6　比較して見ると、有毒菌の色は比較的に鮮かなことになります。また菌類を食べて有毒であるか否かを知るには、銀に入れて煮よう、一緒に入れて煮ようが、銀が黑變しなければ安心であるともいはれますが、わが國のやうに多數の茸を食べる地方では、この方法は全く當てにはなりません。有毒なもので銀が黑變しないものが澤山あります。要するに、有毒無毒の區別について、これだけの標準を以てすべてを律することはできないわけです。

×　×

7　有毒菌の種類は、我國では、ベニタケ科、ニガクリタケ科、テングタケ科、ハラタケ科、イグチ科、ヒダナシタケ科、キシメジ科、ヒダハタケ科、ホコリタケ科、キノコ科、ヤマドリタケ科、アミガサタケ科、チヾミタケ科、ツノタケ科、ヒメノガステル科、ヒメカバイロタケ科、ヒメツチグリ科、ツチグリ科、ヒメツチダケ科、ヒメツチグリ科、ヒメツチダケ科、ヒメツチグリ科、ヒメツチダケ科、ヒメ

星ぞら
……上海上映脚本……
(158)
井伏鱒二
吉田貫三郎

岳麓風景（一〇）



獨裁者の收入調べ
ヒトラーが最高

ニューヨーク發同盟「記者」獨逸國民社會主義勞働者黨の首領アドルフ・ヒトラーは、ナチス・セラー「我が闘爭」の印稅から上る收入は、實に莫大なもので、數年前の調査では百萬弗以上に達してゐた。ヒトラー總統の月給は僅かに千二百弗に過ぎないが、生活費は全額國家が負擔することになつてゐる。

ムッソリニ首相

イタリア首相の年收は二千五百弗に過ぎないが、ムッソリニ總統と同樣國家との年收に對する印稅の利益が流れ込む。彼は同首相の機關新聞ポポロ・ディタリア紙は大であるから廣告收入も多額で、その實質收入は數百萬弗から上る莫大なものである。

株式社債

夕刊經濟欄
北州自動車
當期の利益處分

時局經濟相場欄
登山袋が急に高くなつたが何故か

問　リュックサックの價格が高いですが、十日程前に二十五圓位だつたのが約三十圓位になつて居ますが、何の時節に影響でせうか

答　御質問の品の價格は九月二十日頃迄は北部三百二十圓を以て販賣されて居りましたが、十月に入つて登山袋スキーリングの小賣價格が高くなつて居ります。大體登山袋は一圓二十錢と云つて居ります。

芳香咀嚼性に富む
榮養飼料の製造法
酒精製造の副産物

新體制で巡業除の異變

石橋をたたく
八段坂口允彦

戰抗對者段高棋將
主催　本社

紛飾とお別れ

スッキリとした健全な素肌で進みませう……

若返りとを肌著す返

東寶シーズンへ突撃！
大衆娯樂番組
川田義雄・山根壽子主演
ハモニカ小僧
廿七日封切
東寶直營 國際館
東寶文化映畫 醫者のない村
荒神山の虎造
黒川弥太郎 山根壽子 廣澤虎造 演出
傑作流行歌
軍進丸の巨
靜樞 口雄
ろーこの男
筑波 高
八近郎衛 兵備警の海南
紛飾とお別れ
スッキリとした健全な素肌で進みませう……
主婦之友社の
粉洗ギムトハ 藥研
婦人良藥
ハンフラサ 藥草湯
蛇凉
蜂、蠍蛇、南京蟲、ムカデ、蚊等にも是さへあれば（各説明書進呈）
鳩居堂 創業大阪六二八
Z信號
イ・ツ・ウ ハ・キ・ケ ン・ノ・メ ノ・ル・モ
胃痛・けや胸・痛にヅミキ
ルノンザモ錠
旅治の多過酸胃 痛鎭と酸制
カモス齒磨
のみのコバタ
内緣の煙草のみ！といふのがあるスモカ使はぬ煙草のみの心情をいふのである
曲浪大の望待 成完に遂
清水次郎長傳
清水港の歌
清水港の男の仁義
吉良の仁吉
森の石松各種篇
廣澤虎造 口演
一枚一組 寫眞アルバム入 寫眞文句冊子付
集會の餘興用に慰問用に御家庭の圖樂に最適!!
クチイテ
ムーソワ
グンシニパ
ータスマ
に後リソ髭・に下莊化お

（第二版）（指令許可）昭和十五年九月九日第三種郵便物認可　昭和十五年九月二十七日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百六十四號　（一）

臺灣新幸民報

日本夕刊共二十二頁
作爲定價金　壹圓
社長　本社　一ヶ月　一圓
社長　本社　一ヶ月　一圓
社長　本社　一ヶ月　一

國土計畫設定の劃期的意義
大東亞共榮圈建設的な根幹

一

昨年來歐洲戰爭の擴大に伴ひ國土計畫の確立が我國防の整備に對する緊要事となれる處であり、從來それ〴〵獨自の立場の下に行はれ來つた國防關係の諸施設の上に加へて、なほ一段と強化擴充を加へなければならぬ事は勿論であるが、更に之等諸施設の根柢をなすべき國土そのものに對しても、從來の如き單なる自然的存在としてのみ之を觀ずることなく、之を人的物的資源の培養地として、國防國家體制の完成に對し、最も有效適切なる計畫の下に、之が開發利用を圖ることが、現下の急務であると考へられる。

二

國土計畫は國家の生存發展の爲に極めて目的的なものである事は既に屢〻述べた處であるが、之を更に具體的に明確に把握するには、先づ國防國家體制の完成の爲に、國土計畫が如何なる點に重點を置くべきかを檢討する必要がある。

國防國家體制の完成とは、國家の全機能を擧げて國防目的の爲に集中發揮し得る樣に、國家體制を再編成することであるが、之を國土計畫の面から觀察すれば、國防國家體制の完成とは、國土の利用、開發、保全等國土に關する諸施策を擧げて國防目的の爲に綜合統一し、國防力の最大限の發揮を期することであると言ひ得る。

從つて國土計畫は、國防目的の爲に、國土の利用、開發、保全等國土に關する諸施策を綜合統一し、國防力の最大限の發揮を期する爲の總合的國策樹立の基礎となるものである。

國防國家體制の完成の爲には、

特殊會社運營に劃期的な要求

目標を明示し責任を追究する

滿洲國の新政策刷新

高率運營を期待

一業一社、役員少數主義も要望

明年度の木炭

國家が需給操作實施

物價は世界的に騰勢

農業團體統制と北洋漁業統制問題

石黑農相見解を披瀝

日發強化

配電會社の設置策

經濟新體制の方向

【中】農村經濟に就ても改編を要す

臺灣と關滿支の貿易調整を評定

砂糖配給

十月分定決

内外商況（二十六日）

主力株は存外底堅

東京長期後場

大阪長期後場

東京短期後場

大阪短期後場

絲況

兜町後場況

兜町前場況

移轉廣告

臺北市京町二丁目三番地　新高證券株式會社　臺北廣友會

金銀鑛脈發見法

浮世絵美人畫集

タップ講座

恐怖の瘢病でも

双眼鏡

出征・入營・凱旋の挨拶はこうするもの

戰時下の式辭挨拶演說集

手紙上手は一生の徳

皇軍慰問文入り手紙作り方辭典

自分の顔に…

ソラドゴンタス

神經衰弱

不眠

食慾不振

ビル病

—治療方針—

牡丹崩れず (207)

竹田敏彦作
岩田專太郎畫

揚子江夜話 (二)

英二兵、その晩思い出したのは上海の民衆に襲われたヨーロッパ人の婦人、幸福そうな夫の紳士淑女といい夫婦だった。英二兵、その頃くれ立つた船のやうな船、在留の三ケ月の乃至、すべて歸かに記憶してゐる。それよりも前で、ある晝大使館の隣家が襲撃した時、王もその襲撃者の一人として、英力兵の手で、しまりに屍体を運び出されるまで、その時の緊張感覚を、英二兵は忘せてもらつたことがある。

それが、英二の學生時代のラグビー部仲間にどつか似通つたところがあるので、後年その印象は鮮明だつた。

「ようだ、主將だぞ……」

英二兵、それを見てとると、漂流物の發見者として名を擧げられるのを恐れて、すぐに屍体から離れようとしたが、ふと、ある考へに、若い二人が、

「十六時までに下關第六國際の家に來つてゐい」

との一言をはつきり耳にした。

「しつ……」

誰かが注意する聲が聞えた。英二兵、

「はゝあん！」

と心に叫んで、何食はぬ顏で、郵便局を出た。そして、アパートへ歸るや、南北支那の地圖を擴げてみた。

英二兵の關心事といふのは、表面は支那人の私設郵便局といふことになつてゐるが、實は二重の秘密機關で、郵便局については四十五六の親日支那人が責任者であり、郵便局長は、支那人でなく、日本人だといふ噂もある。

しかし、その時、英二兵の耳が、聞き慣れた日本語を聽いたやうな氣がしたので、すぐ机に向つて、只今發信局長として主義者を監視する「下關第六國際局」の家に宛て、

「下關第六國際局主義者の家に宛て、主義者の家にせざるも、晝早時間の郵信なきにせざるも、夕刻までに必着なきにより、小生歸京これを探知せんとす。何れにしても十六時半までに歸國して報告致します。」

と電報を打つた。

英二兵、その電報を打つてから、ふと、

「下關第六國際局の家に宛て、主義者の家にせざるも、晝早時間の郵信なきにせざるも、夕刻までに必着なきにより、小生歸京これを探知せんとす。何れにしても十六時半までに歸國して報告致します。」

と

（第三種郵便物認可）　昭和十五年九月二十七日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百六十四號　A（五）

臺日各地綜合版

天晴れ納稅報國
見事臺南州完納

【臺南特電】臺南州下に於ける昭和十五年度國防分擔金納稅は二十日限期の時點に於て二百十四萬二千二百四圓の巨額完納にインした部は全部で廿支廳、臺南、高雄兩市も二十五日の期限には完納の見込で愈々支廳の完納には臺南州が最初の榮冠を擧げた

竹南郡完納

【竹南特電】新竹州竹南郡下各街庄の本年度國防分擔金納稅はそれぞれ完納した

東港郡完納

【東港特電】東港郡當局では管内各部落會と緊密連絡の下に納稅の自覺を促進する一面納稅の方法に付き其他金融機關の協力を求め昭和十五年度國防分擔金は一部期限一二十五日午後六時に一部五日午前十時の好成績を以て完納したもので郡當局では之を感謝してゐる

滯納者百名
屏東市内だけで

【屏東特電】屏東稅務出張所管内の十五年度國防分擔金、官營鐵道納金額は五十一萬八千五百三十四圓五十二錢で、納稅人員は六千二百十三名で本年度の納稅人員は六千二百十三名で本年度の納稅人員は六千二百十三名で本年度の

銃後の精動版

鍛へよ心身！

壯丁團が草山卦山で

國民精神總動員の新體制に即應すべく彰化郡では保甲壯丁團員の素質向上並びに力一致の觀念を昂揚し「擧國一致」の下に掲げる國民總動員の完璧を期すると共に從來の訓練方針を更に一段と强化徹底せしめる爲め去る八月卅一日より九月一日迄の三日間を以て草山卦山の兩所に於て第二回目の壯丁團幹部訓練を實施したが其の概要次の如し

奉公班七百

羅東郡下で結成さる

羅東郡下に於ける國民精神總動員實踐事項の一として奉公班の結成方を協議する爲め去る廿日午前十時より羅東郡役所樓上に於て郡下各街庄の國民精神總動員實踐事項主任者會議を開催したが其の席上次の如き奉公班の結成方針が決定した

一、奉公班は隣保組織を基礎として之を結成すること

一、奉公班は隣保組織の單位たる十戸乃至十五戸を以て一班とすること

一、奉公班は班長一名を置き班長は隣保組織の單位たる十戸乃至十五戸の中より適當なる者を選擧すること

一、奉公班は國民精神總動員實踐事項の實踐單位たること

一、奉公班は國民精神總動員實踐事項の實踐に關し隣保組織を通じ一般國民に對し指導的地位に立つこと

一、奉公班は國民精神總動員實踐事項の實踐に關し隣保組織を通じ一般國民に對し指導的地位に立つこと

奉公班宣誓文

一、我等は國家に奉仕する國民たるの自覺に基き奉公班の班員として國家の命令に服從し隣保の結束を固くし國家の興隆に貢獻せんことを誓ふ

一、我等は奉公班の班員として國家の興隆に貢獻せんことを誓ふ

一、我等は奉公班の班員として國家の興隆に貢獻せんことを誓ふ

一、我等は奉公班の班員として國家の興隆に貢獻せんことを誓ふ

一、我等は奉公班の班員として國家の興隆に貢獻せんことを誓ふ

三里の保甲道路 幅を擴げる

勞力は保甲民奉仕

【竹山特電】臺中州竹山郡役所にては小半年と長期間の懸案であつた竹山街と鯉魚山麓の集團部落とを結ぶ三里の道路を幅員二間半に擴張改修することとなつたので去る廿日より一週間に亘り郡下各保甲より勞力奉仕を求めたが豫定の人數を遙かに突破する盛況を呈し各保甲民は我れ先にと勞力奉仕を申出で中には一日で完了するからと申出でたものもあつたが郡當局では遠隔の地より來る者は却つて迷惑であるとの理由で之れを斷つたと云ふ尙ほ今回の道路改修は竹山街と鯉魚山麓の集團部落とを結ぶ唯一の交通路であるが從來は幅僅かに一間半位の狹隘な道路であつたので自動車の通行は勿論荷車の通行も困難であつたので今回の改修は地方民にとつては誠に有難い事である

ラヂオ

【六日(四)】明の徳川夢聲「ラヂオ講座」

【七日(四)】【八日(四)】【九日(四)】正午の時報（東京中央放送局から）

【七日(四)】【八日(四)】【九日(四)】臨時ニュース（東京中央放送局から）

【七日(四)】【八日(四)】【九日(四)】國民精神總動員實踐事項の實踐に關する講演

神嘉殿南庭に出御
聖上 神宮を御遙拜

【東京二十六日發同盟】

天皇陛下には二十六日七時八時 豊受大神宮 皇大神宮 別宮 多賀宮 月讀宮 伊佐奈岐宮 伊佐奈美宮 瀧原宮 瀧原竝宮 伊雜宮 風日祈宮 倭姫宮 の順序に御遙拜あらせられた 尚くも 陛下にはこの佳き日を慎しく御祭祀を遊ばされた御後 御裝束をあらせられ神嘉殿の南庭に下御 御裝束に着かえられた後ひとり御三殿前庭

鎭座ましまして
早くも滿二十年、

明治神宮祭奉祝會の奉祝行事

【東京二十六日發同盟】大正九年 御鎭座 昭和五年 御造營 の方法をもつて 御鎭座 となり 御造營 の中特に 内苑 に 明治神宮 の御神德を 永遠 に 仰ぎ奉らんが 陛下 御親拜 の 畏き 御事蹟 からいふも 國民 一般 からいふも 明治神宮 の 御鎭座 二十年 を 期 として 國民 擧つて 盛大 に 奉祝 せんとの 氣運 漲り 來り 十年祭 に 倍 する 盛儀 の行事 が 擧行 せられる こととなつた

一、祭典 十月二十一日 秋の 例祭 十一月一日、二日 例祭、二十日 明治節祭 例祭

二、儀典 明治天皇 御製 の 御歌 を 永遠 に 仰ぎ奉る 意味 から 御歌碑 を 境内 に 建立 する こと が 決定 した 尚 この 御歌碑 は 十一月 大祭 に 除幕 式 を 擧行 する 豫定

三、明治神宮 會館 の 建設 明治神宮 會館 は 從來 の 社務所 が 狹隘 で 參拜者 の 休憩 にも 不便 を 感じ 居た ので 今回 新 に 會館 を 建設 する こと となつた 尚 會館 は 鉄筋 コンクリート 二階建 で 建坪 二百 坪 總工費 十萬 圓 の 豫定 で 來年 三月 竣工 の 豫定 である

四、奉祝 講演會 十月二十一日 午後 一時 から 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 未定

五、奉祝 體育大會 十月二十一日 明治神宮 外苑 競技場 に 於て 開催 する 豫定 で 參加 團體 は 目下 選定 中

六、奉祝 マラソン 大會 十月二十一日 明治神宮 外苑 を 中心 として 開催 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

七、奉祝 國民 競技 十月二十一日 明治神宮 外苑 競技場 に 於て 開催 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

八、奉祝 相撲 十月二十一日 明治神宮 外苑 相撲場 に 於て 開催 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

九、奉祝 花火 十月二十一日 明治神宮 外苑 に 於て 打上 げる 豫定 で 數 は 目下 選定 中

十、奉祝 能樂 十月二十一日 明治神宮 外苑 能樂堂 に 於て 開催 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

十一、奉祝 武德會 十月二十一日 明治神宮 外苑 に 於て 開催 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

十二、奉祝 體育團體 十月二十一日 明治神宮 外苑 に 於て 開催 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

十三、奉祝 煙火 十月二十一日 明治神宮 外苑 に 於て 打上 げる 豫定 で 數 は 目下 選定 中

十四、奉祝 獻詠 明治神宮 に 獻詠 する 和歌 は 十月 末日 迄 に 締切 る 豫定 で 選者 は 目下 選定 中

十五、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

十六、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

十七、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

十八、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

十九、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

二十、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

二十一、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

二十二、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

二十三、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

二十四、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

二十五、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

二十六、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

二十七、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

二十八、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

二十九、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

三十、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

三十一、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

三十二、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

三十三、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

三十四、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

三十五、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

三十六、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

三十七、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

三十八、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

三十九、奉祝 獻詠 發表 會 十一月 中旬 明治神宮 外苑 に 於て 發表 する 豫定 で 參加 人員 は 目下 選定 中

四十、奉祝 獻詠 講演會 十一月 中旬 日比谷 公會堂 に 於て 開催 する 豫定 で 講師 は 目下 選定 中

軍艦宇治 進水式を擧行

【東京二十六日發同盟】 昭和十年 度 計畫 に 基き 呉 海軍 工廠 に 於て 建造 中 の 軍艦 宇治 は 二十六日 午後三時 二十分 大臣 海軍 工廠 に 於て 進水 式 を 擧行 した

臺灣倶樂部 定例午餐會

【臺北二十六日發】 臺灣倶樂部 定例 午餐會 は 二十六日 正午 より 其の 例會 室 に 於て 開催 され 會員 百 餘名 參集 した

國華徵兵協會支部

【臺北二十六日發】 國華徵兵協會 臺北支部 では 二十六日 午後 一時 より 臺北 市 役所 樓上 に 於て 第 一回 總會 を 開催 した

日新丸基隆へ

新丸（二万五千八百トン）、姉妹船 ぶらじる丸 と 共に 昭和 十七年 度 竣工 の 豫定 で 建造 中 の 大阪 商船 の 新 優秀 船 は 十六日 午後 六時 四十分 基隆 港 に 入港 した 尚 同船 は 十七日 午前 八時 出帆 の 豫定 （基隆發）

醸造禁止を建議

【東京發電】 二十六日 日本 醸造 協會 臨時 總會 は 二十四日 午後 一時 より 東京 會館 に 於て 開催 され 左の 如き 建議 を 可決 した

一、醸造 用 米 の 配給 を 確保 し 且 之 が 價格 を 低廉 ならしむる 爲 適當 の 施設 を 講ぜられ たき こと

二、醸造 用 米 の 配給 を 確保 し 且 之 が 價格 を 低廉 ならしむる 爲 適當 の 施設 を 講ぜられ たき こと

三、醸造 用 米 の 配給 を 確保 し 且 之 が 價格 を 低廉 ならしむる 爲 適當 の 施設 を 講ぜられ たき こと

嚴かに還御の御儀

【東京二十六日發同盟】 嚴肅 の 裡 に 行 はれた 神嘉殿 の 御儀 は 午前 十時 より 新 御裝束 を 召 御 御 御

新人の擡頭期待さる

全臺灣學生卓球前記

男子部は殿堂が相變らず強いが新人の擡頭を最も期待される二女子部の優勝者も見逃せない。一勝の黄金は殿堂シングルでは殿堂の選手を脅かし得るの實力を見せてゐるが、他の女子部の優勝者は殿堂の敵ではない。殿堂シングルでは殿堂の選手を脅かし得るの實力を見せてゐるが、他の女子部の優勝者は殿堂の敵ではない。殿堂シングルでは殿堂の選手を脅かし得るの實力を見せてゐるが、他の女子部の優勝者は殿堂の敵ではない。

△　△　△

宜蘭勢は今回の全臺灣學生卓球大會に於て殿堂勢と共に注目の的となつてゐたが、殿堂勢は宜蘭勢の實力を見極めるに充分な試合振りを發揮した。殿堂勢は宜蘭勢の實力を見極めるに充分な試合振りを發揮した。殿堂勢は宜蘭勢の實力を見極めるに充分な試合振りを發揮した。

△　△　△

女子部は殿堂が相變らず強いが新人の擡頭を最も期待される二女子部の優勝者も見逃せない。一勝の黄金は殿堂シングルでは殿堂の選手を脅かし得るの實力を見せてゐるが、他の女子部の優勝者は殿堂の敵ではない。殿堂シングルでは殿堂の選手を脅かし得るの實力を見せてゐるが、他の女子部の優勝者は殿堂の敵ではない。

△　△　△

十五點制内外に次第に改正する傾向あり

殿堂勢は宜蘭